

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

1 基本情報			事業番号		0370/502545/02/00		事業の種類		4		
年度		19	事務事業名		資料館管理事業		作成日		平成21年1月20日	重要度	4
予算事業名			資料館管理事業			担当部課名		生涯学習課			
政策名			愛着と生きがいを育むまちづくり								
施策名			文化財保護			実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
根拠法規及び関連法規			相生市立歴史民俗資料館条例								
事業の目的	誰のために(具体的に)		市民								
	誰(何)を対象として		歴史民俗資料館								
	意図(どのような状態にしたいのか)		郷土資料の収集、保存、活用を図ることが郷土愛につながる。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		郷土資料を適正に管理し、市民の関心と理解を深める。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	資料館管理事業	回	1	1	2	1
	(特別展の開催)					

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.200	0.200	100.0	0.200	100.0	0.200	100.0	
	臨時職員	0.500	0.500	100.0	0.500	100.0		-	
支出内訳	人件費	3,939,552	3,694,801	93.8	3,750,669	101.5	2,419,972	64.5	
	事業費	2,557,373	1,126,000	44.0	1,767,745	157.0	934,000	52.8	
	合計	6,496,925	4,820,801	74.2	5,518,414	114.5	3,353,972	60.8	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,496,925	4,820,801	74.2	5,518,414	114.5	3,353,972	60.8	
	合計	6,496,925	4,820,801	74.2	5,518,414	114.5	3,353,972	60.8	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		資料収集状況							
指標説明(式)		年度内に受け入れた資料数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
点	目標	130	120	92.3	120	100.0	120	100.0	
	実績	160	408	255.0	207	50.7			
指標名2		1ヶ月当たりの入館者数							
指標説明(式)		入館者数÷12ヶ月							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標	130	120	92.3	110	91.7	100	90.9	
	実績	136	104	76.5	90	86.5			

【効率性】

指標名1	資料館入館者1人当たりにかかった経費								
指標説明(式)	資料館事業費÷入館者数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	1561	1523	97.6	1642	107.8	1000	60.9	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	郷土の歴史、民俗、産業等に対する市民の理解を深めることは市の責務。中世矢野荘の資料を公開することは郷土の生活文化を理解する上で欠くことのできないものである。	4	4
	目的の妥当性	市民から貴重な物件の寄附を受けて、将来のために保管する役割も果たしていく。		
有効性	市民サービス	郷土資料を市民共通の財産として後世に継ぎ続くことは不可欠である。	3	3
効率性	コストの節減	図書館同様に、窓口業務の民営化をはかり人件費を中心にコスト削減を行った。	4	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	資料館のさらなる経費の削減に努める。

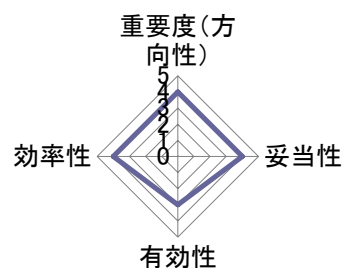
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	資料館の受付業務を図書館の業務委託の中に組み入れ、経費の削減に努めるとともに、限られた開館時間内(10:30~14:30)で対応できない場合は、図書館職員が対応し、市民サービスの維持に努める。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

魅力ある企画展を開催し、広く人々に広報し、より多くの方に資料館に来館してもらう。
--



検討の有無	—
総合指標	21